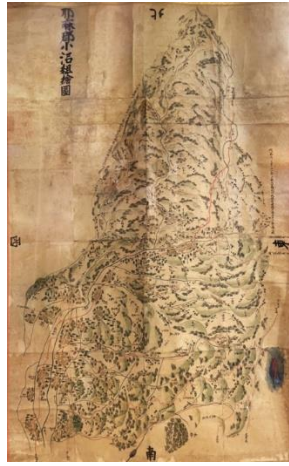


小沼組絵図かわら版

「小沼組絵図」の修復現場より



みなさん、こんにちは。上の写真が、五月末に修復に出した村指定文化財の「耶麻郡小沼組絵図」です。今までは松原歴史館に展示してありました。

「耶麻郡小沼組絵図」は、江戸時代の大塩・北山・熊倉(現・喜多方市)の様子が描かれた絵図です。縦約2メートル50センチ、横約1メートル30センチほどのかなり大きな紙に、各集落や地形の様子が詳しく書かれています。今回は修復をお願いした茨城県水戸市にある表具店「泰清堂(たいせいどう)」さんの店舗にお邪魔して修復の様子を見学してきました。

泰清堂さんに聞いてみよう

……以下、泰清堂さんとの会話です(敬称略)……

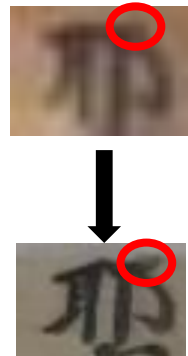
公民館: この度はお忙しい中お時間を取っていただきありがとうございます。現在、修復作業の途中ですが何かお気づきになったことなどございますか?

泰清堂: この絵図は、一枚に仕上げるのに何枚もの細かいパーツをつなぎ合わせています。また、つなぎ合わせる際に何枚もの細かいパーツをつなぎ合わせて貼らせていました。それを全てのばしてつなぎと全体を折り込んで貼らせて、絵図がつながらない部分が出てしまうことが分かりました。ですので、今回のつなぎ直しは最低限の箇所留めています。

公民館: そういふ状態でこの絵図は作られていたのですね……。これは、修復しなければ分からない貴重な情報ですね。

泰清堂: 修復の過程で、細く切断された紙が数枚見つかりました。どうも現在の形になる過程で絵図の一部を切断していたようです。その中に「耶麻郡小沼組絵図」の文字の一部が有りましたので、今回、元の位置につないでおきました。

公民館: 耶麻郡の「耶」の上半分ですね、文字のバランスが気になっていた所なので見つけていただきありがとうございます!



「おおぎと」の部分がはつきり分かるようになりました。こんな細かい部分を…驚きです!

泰清堂: 実は、修復を進めるのに絵図がにじまないよう注意しながら霧吹きで水を吹きかけるんですが、本紙に水分が含まれると「出汁」の香りがしました。

公民館: 今まで絵図が置かれていた環境の影響でしょうか。紙は香りも吸着してしまうのですね…。

泰清堂: 今後、展示や保管の際は大事な文化財が置かれる環境にも注意を払う必要があると思われます。

公民館: そうですね。このように手間をかけて修復していただいていますので安易に「修復をお願いいたします。」とならないよう、展示や保管の方はしっかりと検討しないといけませんね。



修復中の絵図。
大きな絵図なので、修復作業も数人がかりとのこと。
まだまだ作業は続きます。